

ももたろう

水谷章三 ● 文 杉田豊 ● 絵

ワンダー民話館





ワンダー民話館

ももたろう

二〇〇五年十一月一日 初版第一刷発行

文 水谷章三 絵 杉田 豊

発行人 小林公成

発行 株式会社世界文化社

東京都千代田区九段北四二二二九

〒一〇二一八一八七

電話〇三(三二六二)五一一五(販売本部)

〇三(三二六二)五一一一(編集部)

印刷 共同印刷株式会社

製本 株式会社大観社

禁無断転載・複写

©Shozo Mizutani, Yutaka Sugita

2005 Printed in Japan

ISBN4-418-05837-0

紙で手を切ることがあります。

絵本の扱いには十分ご注意ください。

蘇工業学院図書館
藏书章

ンター民話館

水谷章三 ● 文 杉田豊 ● 絵

ももたろう



定価： 本体476円 + 税



世界文化社

ももたろう

文●水谷章三

絵●杉田 豊



む

かし むかし。

ある むらに、おじじと おばばが、

ふたり きびしく くらして おった。

ある ひ。おじじは やまへ しばかりに、

おばばは かわへ せんたくに でかけた。

ぎぶぎぶ ぎぶぎぶ。おばばが せんたくを

して おると、かわかみから、おおきな ももが、

どんぶり こんぶり ながれて きたんだと。

おやおや まあまあ。おばばは、ももを

ひろって、うちへ もって かえったんだと。







お

じじが やまから もどつて、
「ほおつ、こりやあ ありがたい。

さっそく いただこうかいの」

と、ほうちようで きろうと したら、

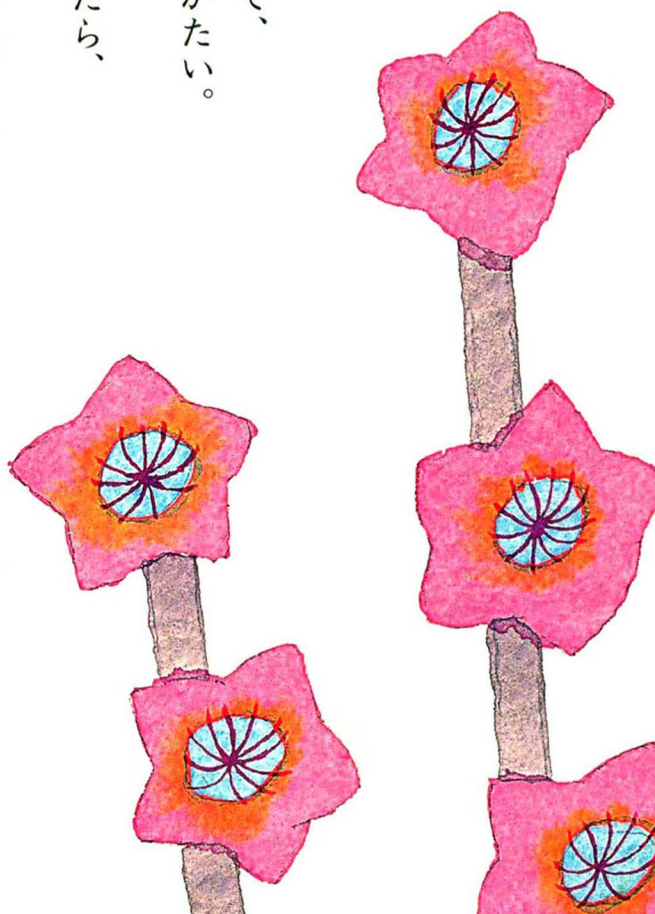
ほんぎやあ ほんぎやあ。

ももが ひとりでに われて、あかんぼうが

うまれたんだと。おとこのこだったと。

ももから うまれたんだから なまえは、

ももたろう。





もたろうは　ぐんぐん　おおきく　なった。
ちやわんで　たべれば　ちやわんだけ。

どんぶりで　たべれば　どんぶりだけ。

なべで　たべれば　なべだけ　おおきく　なった。

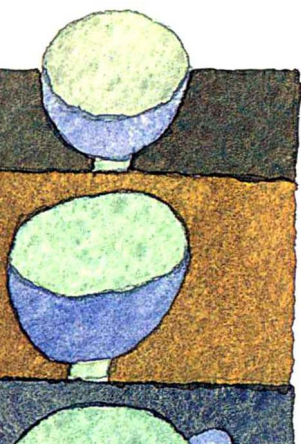
ところが、まいにち　ねてばかりなんだと。

「ももたろう、やまへ　たきぎひろいに　いこうや」

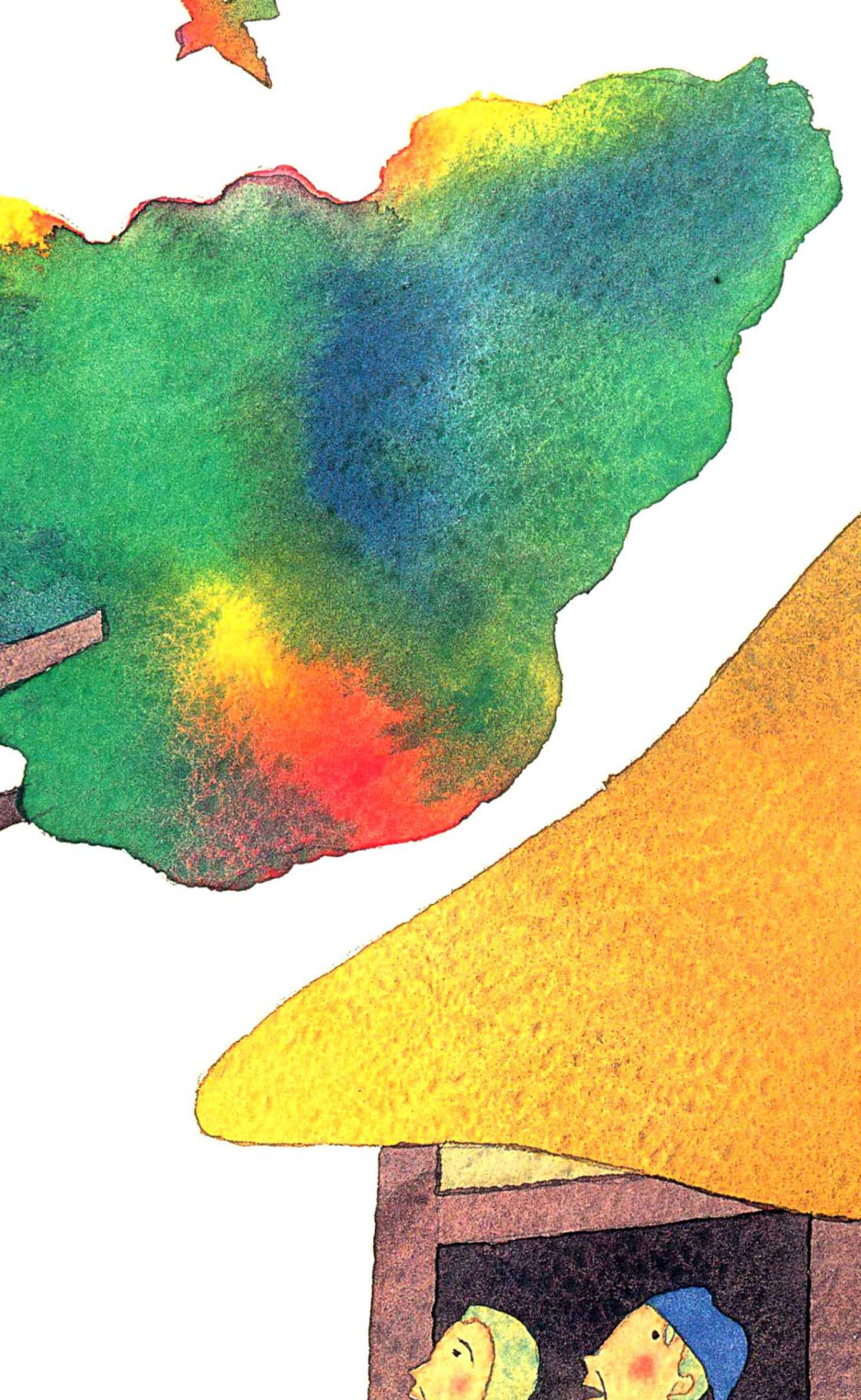
ともだちが、なんか　むかえに　きても、

「ふむ　ふむ、むにや　むにや」

と　いうばかりなんだと。







「と」

あて こまったぞ。ももたろうに
くわせる ものが なくなるぞ。どう

すべえ」

すると どうだ。ももたろうは、いきなり
たちあがったと おもったら、ごんごんと
やまに のぼって いって、ぶつとい きを
ねっこから ひっこぬいて かついで きた。
「これ うって、くいもの こうて くれえ」
おじじと おばばは、こしを ぬかした。



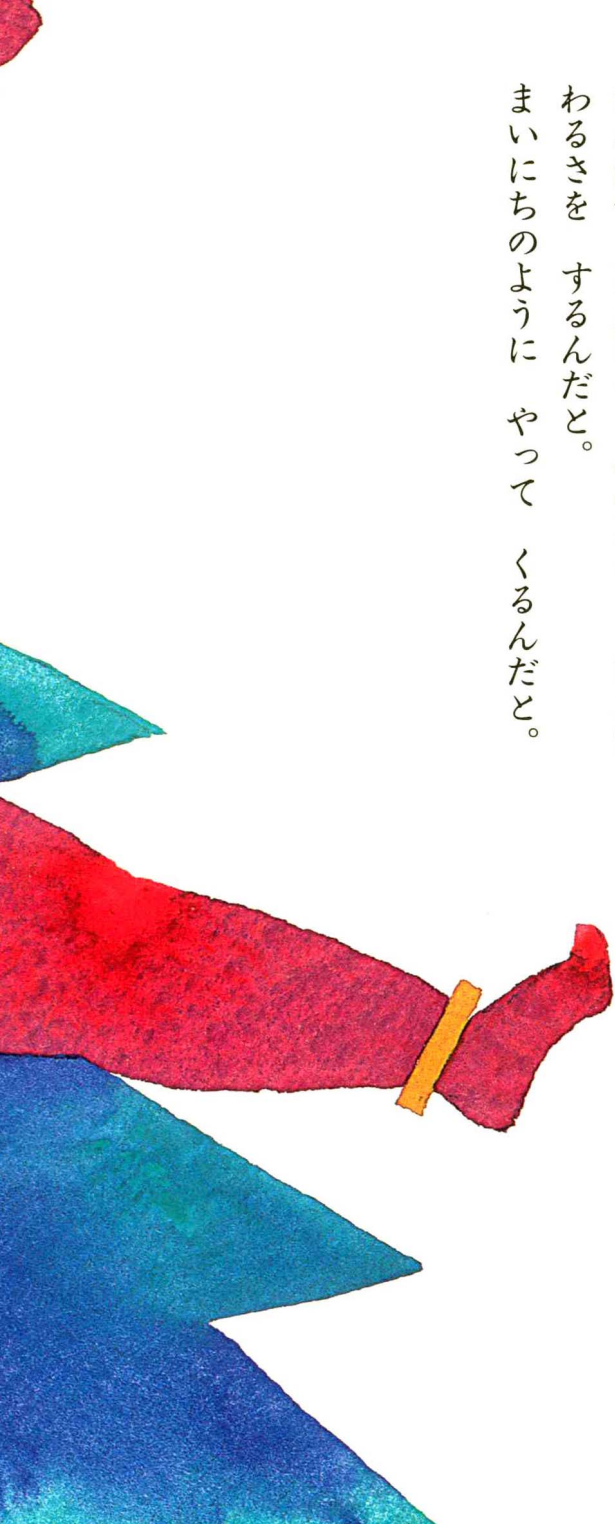


るとき。

うみの むこうの おにがしまから、
おにどもが どかどか やって きた。

わるい おにどもは、だいじな むらの
たんぼや はたけを ふみあらし、ひどい
わるさを するんだと。

まいにちのように やって くるんだと。









びき かいて ねて いた ももたろうが、
うーんと いって、おきあがった。
「よし、おら おにたいじ しに いく」
「だめだ だめだ。いくら おまえが
ちからもちでも、おにには かなわんぞ」
「いや いく。なんとしても いく」
「そうか。そんなら、ちよつと まて」
おじじと おばばは、ごーりん ごーりん
うす ひいて、きびだんご、おおきいのを
みつつ つくって やったんだと。